

授業科目 成人看護学概論	区分・教育内容		
	専門分野 成人看護学		
授業担当	開講時期	単位	時間数
菅原 晴美	前期～中期	1 単位	30 時間
<b>授業の目的</b>			
成人期にある人々の生活と健康について理解を深め、健康を保持・増進するための看護アプローチの基本を学ぶ。			
<b>授業の目標</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>成人期にある大切な人の健康を守るプランを提案する。</li> <li>成人の健康を保持・増進するための看護アプローチの理論や方法論を理解する。</li> </ol>			
<b>授業概要</b>			
成人期は人生の中でももっとも長く、社会の中心的な役割を担う時期でもあり、環境や習慣、生活ストレスなど健康生活を脅かす問題を抱えやすい。それらの背景を理解した上で、看護アプローチの理論や技術を活用し、成人期の健康を保持・増進させることが重要である。			
「身近な“成人期”にある大切な人の健康を守ろう！プロジェクト」に取り組むことで、観察できる力を養うとともに、身近にいる成人期にある大切な人の健康、生活、環境を関連付けながら、看護の視点で大切な人の健康を守るための提案をする。			
<b>授業計画（進め方）</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 回目 講義：成人とは、大人になるとは …成長発達の特徴</li> <li>2 回目 講義：成人の生活を理解する 健康観の多様性</li> <li>3 回目 講義：慢性病との共存を支える看護 慢性病患者の理解 病みの軌跡 疾病の受容</li> <li>4 回目 講義：大人の健康行動と看護援助 …大人の学習支援 学習者である患者への看護技術 エンパワーメントエデュケーション セルフマネジメントを推進する技術</li> <li>5 回目 講義：看護実践における倫理的判断と倫理課題へのアプローチ</li> <li>6 回目 グループワーク：看護実践における倫理的判断と倫理課題へのアプローチ</li> <li>7 回目 講義：意思決定支援・家族支援</li> <li>8 回目 講義：治療の過程にある患者への看護技術 症状マネジメントにおける看護技術</li> <li>9 回目 講義：療養の場を移行する人々への看護技術</li> </ol> <p>残り6回は、身近な“成人期”にある大切な人の健康を守ろう！プロジェクト ～別紙資料参照のこと</p>			
<b>テキスト</b>			
ナーシンググラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論 メディカ出版			
<b>参考書・指定図書</b>			
系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学総論 医学書院 他必要に応じて講義のときに紹介			
<b>評価の方法</b>			
筆記試験（70点） プロジェクト学習（30点）			